

平成29年度 第1回新温泉町行財政改革推進委員会会議録（要旨）

[開催日時] 平成29年5月22日(月)午後1時30分～午後3時30分

[開催場所] 浜坂多目的集会施設 1階 会議室

[出席者] 河越副委員長、朝野委員、熊本委員、小谷委員、西脇委員  
橋本委員、藤田委員、松岡委員、森田委員

行政 小西副町長

事務局 西村総務課長、中島課長補佐、竹中主査

[欠席者] 中澤委員長、仲山委員

[傍聴者] ー

=====

[会議次第]

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 第3次行財政改革大綱及び実施計画の平成28年度実績について

(2) 平成29年度 町政方針及び財政状況について

4 そ の 他

5 閉 会

## [内 容]

### 1 開 会

### 2 あいさつ

副町長： 委員の皆様にご意見を頂きながら、町としても着実な行財政改革をすすめて行かなければならない。

国においては地方への交付税をいかに減らすかを考えているなか、町としては財政の健全化を図りながら、少しずつでも財政調整基金等を造成し、継続した行政運営が出来るように行財政改革を推進していかなければならない。

### 3 議 事

#### (1) 第3次行財政改革大綱及び実施計画の平成28年度実績について

##### ・主な意見等

委員： 各課が評価を出して、その後はどのような流れになっているのか？フィードバック等を行っているか？

事務局： 各課の自己評価となっているが、管理職がメンバーの本部会議で内容についての確認等を行ったうえで、委員会に報告を行っている。また委員会で頂いた意見を再度、本部会議で報告という形をとっている。また、議会の常任委員会でも報告も行っている。自分たちで見直して、自分たちで直していくのが基本となっている。

委員： 水道、下水道料金の統一に向けて一年かけて審議を行い、答申をしても議会で否決をされている。それであれば、一生懸命考えた答申や意見が無駄にならないように、審議会や委員会のメンバーに町議員を1人や2人でも入れて、スムーズに通るようにすればいいのではないか？

事務局： 各委員会や審議会は町長部局としての意見や答申を取りまとめるために設けている。町長としてはそこで出た意見が町民としての意見だとして提案を行っている。最終的な議決権は議会にあるため認められない事もあるが、意見としては尊重されている。

議員を入れるという意見もあるが、そこは住民からの意見だということで、町長が提案するものについては、議会にも理解を求める努力はしていかなければならないと考えている。

委員：下水道事業について公営企業法を適用したということで独立採算制だ  
と思うが赤字か？

事務局：下水道事業は赤字である。一般会計から一部補助し、決算を括って  
いるのが現状である。

委員：独立採算制で赤字なのに、料金を上げずにいるのはおかしい。議員の  
人気取りに使われている。

委員：水道料金等の改定が否決された原因はなにか？

事務局：水道料金を14%の値上げというのが今の家庭生活では負担が大きすぎ  
る。さらに4年後に14%上げ、併せて下水道料金も統一するとすると、  
極端に料金が上がり過ぎてしまうというのが一番の原因。

委員：それであればもっと抜本的な変更案を提示する必要があったのでは？

事務局：他の案も併せて審議会で検討していただき、議会に提出した案がベタ  
ーであると判断して答申を行っている。今後は議会で出た意見も含め、  
バランスの取れた案を考えていきたい。

委員：一般会計の基金を崩してでも、値上げを抑えろというのが議会として  
の意見だった。もっと企業会計の原則、独立採算制のものであるというこ  
ろを勉強してもらわないといけない。町長部局としても、もっと説  
明をして理解してもらわないといけない。

委員：各財政指標（経常収支比率、実質公債費比率）の改善については？  
財政調整基金を取崩した上での指標の改善では意味が無いのでは？

事務局：財政調整基金の取崩しは経常収支比率や実質公債費比率には影響しな  
い。財政調整基金残高の減少は、浜坂病院への4億5,000万円の追加補  
助の影響である。

委員：町を二分するケーブルテレビについて、起債が終わる時期に併せて民  
間への委託も含めて事業の見直しを考える時期に来ているのではない  
か？

事務局：行政の情報伝達手段として温泉地域のケーブルテレビは大きなウェ  
イトを持っている。一方で情報伝達手段の一元化については考えていか  
なければならない。単純に辞めればよいというだけの問題ではない。  
いずれにしても、機器の老朽化等もあるので、近い将来にケーブル  
テレビの在り方について検討しなければならないと考えている。

委員：病院について温泉治療などもっと特色ある病院にするべきでは？  
今のままでは他の病院には勝てないので、なにかに特化すべきである。  
儲かる方法を考えるべきである。

事務局：保険適用となると医者絡みが必ず出てくる。温泉資源を活かせる医者を探して来ることが一番大きなポイントとなるが、システムとしては考えていく必要があると思う。

## (2) 平成29年度 町政方針及び財政状況について

- ・ 主な意見等  
特になし

## 4 その他

委員：新温泉町がテレビで紹介されていても、そのことを全然知らなくて見逃すことが多い。行政無線などで告知はできないか？

事務局：行政としてお知らせしてもいい内容かどうか判断しないといけないが、可能な限りお伝えできるようにはしたい。しかしながら、場合によっては町を通じてない場合や、情報を掴みにくい事もある。また行政無線は緊急防災無線でもあるのであまり頻繁には使えない面もある。

委員：町を外に売り出す事を各団体が頑張って取り組んでいるのに、町としての情報発信など広報の感度が低いように感じる。

事務局：管理職会議等を通じて情報が集まるようにしていきたいと思う。

## 5 閉 会

副委員長：本日は、お忙しい中ご出席いただき、また、たくさんの議事を慎重審議いただき、大変ありがとうございました。